

# てんき新聞

09.8.No14  
発行 日 出  
責任 任 任  
0883-88-5292

名頃のかかこは、今や全国区。

綾野さんが一人ではじめて、祖谷を再々訪れ、この岡山さんの提案で「かかこ」東祖谷を元気にしようとして毎月一回集って自分のかかしを作り、今や名前をつけ、住民登録までし、村長「綾野次郎」が誕生までしている。

その岡上さんが転勤で鳥取へ、かかこへの想いが強かった岡上さん、鳥取でも「かかし」の行動をはじめ、若梅鉄道に目をつける。これが、地域



若梅鉄道のかかし

## かかしが取り持つ交流

八豆(鳥取) 東祖谷

を動かす、観光客も多く訪れるようになっている。綾野さんが親のかかこも二人縁組みし、帰るといふ事もあり、交流することになり、日帰りという強行日程で行ってきました。

八頭町長さんをはじめ、車載をはじめ、かかしが常駐している駅を訪問すると、駅周辺の皆さんが迎えに来て下さいました。

かかしが取り持つ縁で、話題がはずみ、笑顔の交流がみられました。

不思議に、かかしが間にあると、人と人の距離が近くなり、おと前からの知りあいのように話ができます。

八頭地区は、山あいの田園が広がり、一面の鉄道が走り、ノンビリ出来る心あつく土地で、安徳帝や平家と縁があったり、古い町並みに「うづら」があかこたりと、祖谷とは共通項がありました。

なにより、各駅に集ってお迎えして下さった地域の皆さんのゆるぎない自分を感じている八頭への強い思いが伝わるようになりました。私達もかかし発祥の地として全国の中心になるべく、アイデアと行動を



## 山と自然が

### 取り持つ縁

今や「剣山の花」といえるギレンゲツウが七月末より咲きはじめ、連日見に訪れる人が多くなっています。

花にとこは迷惑かと思われませんが、有るにほつてしまつては、我も我もといふ人が増えるのは仕方ないことなのかも知れません。でも、山に来るには準備はしてほしいものです。リックとカッパとクツ、クツを見れば、スニーカーだったり、手に持つバックで登つていく人もいたり、あまりにも安易に考えつていさよつごま。

お金とついでに人集めのツアー客集めは、危殆と隣りあわせになつていようが、山も自然が取り持つ縁は、自然にむきあう心がまえが不可欠です。より楽しくお為には、心と持ち物の準備をこつかりと。



かかし